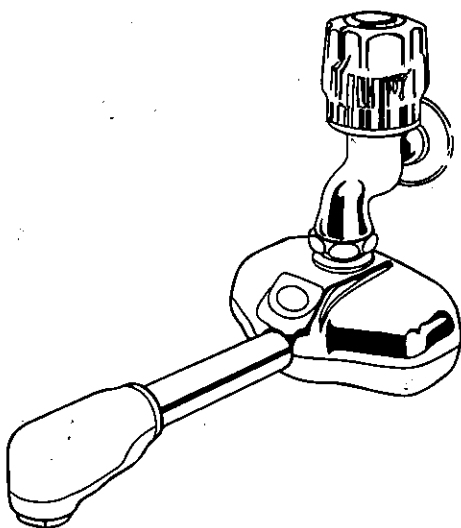
センサー式自動水栓　デルマン

DELMAN

HS-7型(乾電池式)　取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末永くご愛用戴くために、この説明書をよくお読みになり、正しくご活用下さい。

VAITAL
バイタル　エレクトロニクス

デルマン保証書

※お客様	ご芳名		TEL	(　　)
	ご住所	都道府県　　郡区市		
※販売店	住所・氏名・TEL			
		☎　　(　　)		
保証期間：1年間		デルマンHS-7 (乾電池式)		
※お買い上げ年月日		製造番号		

(保証規定はこの取扱説明書裏面に記されています)

株式会社 バイタル
〒385-0034　長野県佐久市大字平賀4888
TEL.0267(62)4537　FAX.0267(62)4626
URL http://vaital.co.jp　E-mail info@vaital.co.jp

各部の名称とはたらき

1.吐水口(整流器)
水の出る部分。

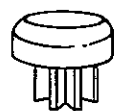
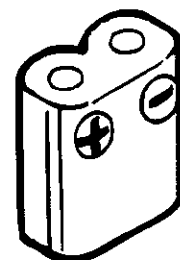
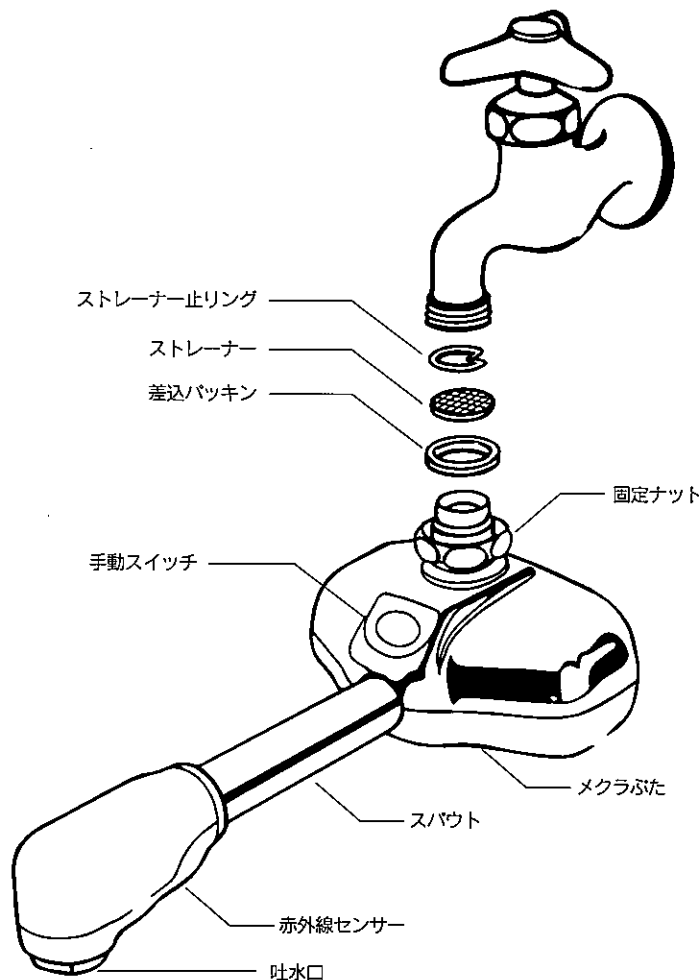
2.高感度赤外線センサー
手や物を感知して水を出しとめする光電スイッチです。

3.水栓部接続およびストレーナー部
既存の蛇口に接続する部分と異物(砂、ごみ等)を遮断します。

4.電池収納部
リチウム電池を挿入する部分です。

5.電磁弁部
ここで水を出したり止めたりいたします。

6.手動給水スイッチおよび設定変更スイッチ
手動で水を出し続ける時とタイマー時間およびセンサー感度学習を変更する時に使用します。

7.スパウト
スパウトの長さは130m/m、170m/m、220m/mの3種類があります。

メカクシキャップ
メクラぶたに取付るキャップ

リチウム電池

ご使用上の注意事項

⚠ 危険

1.本製品には防滴構造を施してありますが、故意に水をかけたり、濡れた手で電池交換などを行わないでください。発熱、漏電の原因となります。

2.製品を分解、改造しないでください。発熱、漏電、火災の原因となります。

⚠ 警告

▼浴室など湿気の多い場所での使用は故障の原因となりますので避けてください。

▼本品は必ず上水道でご使用ください。中水道及び異物を多く含む水は電磁弁への混入により故障、破損の原因となります。

▼新築、改築、既存交換の際は本品を取り付ける前に必ず空流し(ゴミなどの異物を出す。)を充分に行ってから取り付けてください。空流しをしないと、ストレーナー、電磁弁内部にゴミなどの異物が侵入し故障、破損の原因となります。

▼本品は寒冷地仕様ではありません。凍結の恐れのある場所でのご使用の際は、必ず凍結防止ヒーターなどを併用してください。

▼60℃以上の温水を通さないで下さい。

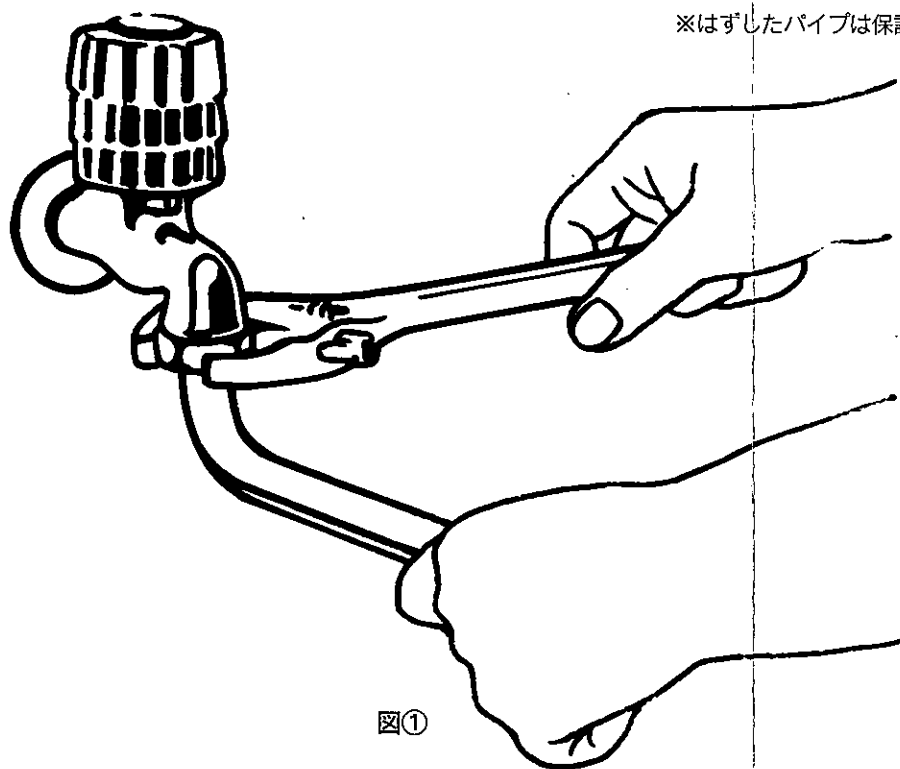
⚠ 注意

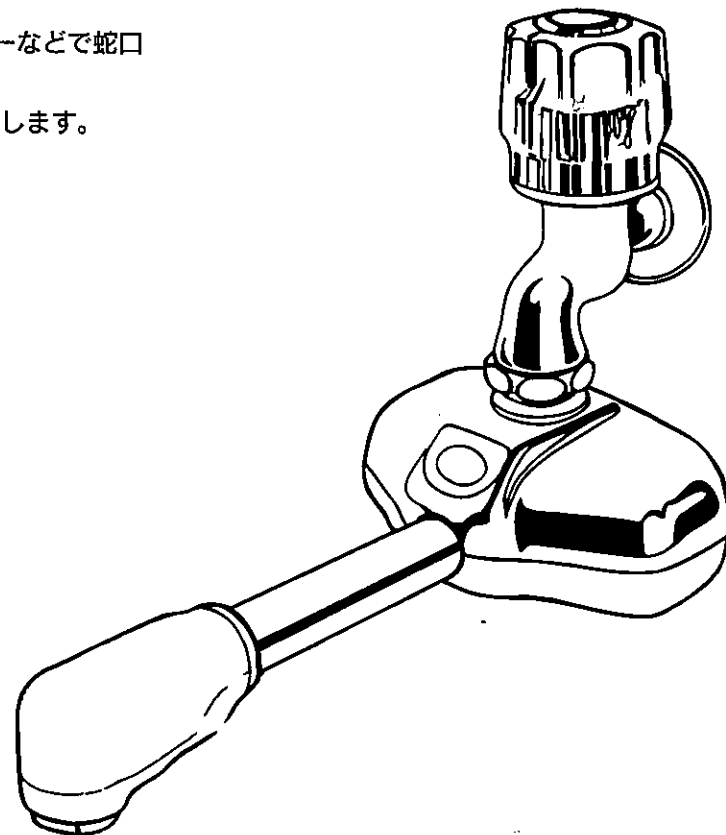
▼混合栓へのご使用について
本製品を湯水混合栓へご使用になる場合は、下記の点に注意して取付けてください。

1)2コックミキシングバルブは逆支弁がついた物だけにしてください。逆支弁無しにご使用になりますと、ボイラーを破損したりする危険性があります。

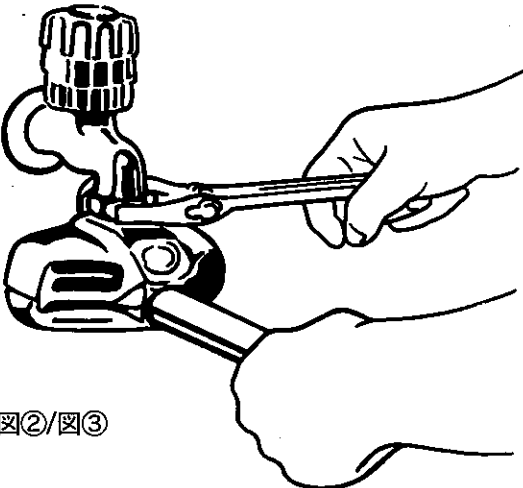
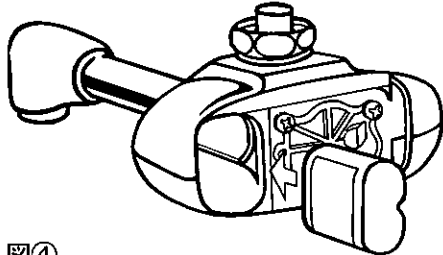
2)シングルレバーセラミック栓でのご使用はその商品のメーカーに確認の上、ご使用ください。そのままご使用になりますと、水漏れ、水栓破損の危険性があります。自動水栓用、ミキシングバルブを用意しておりますので、弊社または販売店にご相談ください。

既存蛇口パイプの取り外しおよび取付け方法

1.蛇口のコック(図①)を閉めて水を止めます。300mm以上のモンキーなどで蛇口のパイプの根もとのナットを緩めてパイプを抜き取ります。
2.水栓内部にパッキンが残ってしまう場合がありますのでそれもはずします。
※はずしたパイプは保証書と一緒に大切に保管してください。

図①

通常出荷時の適合ねじはW26山20を使用しています。それ以外のねじサイズは別売アダプターが必要となりますのでメーカー、販売店にご相談ください。

取付方法および電池のセット

1.本体の接続部にパッキンが差し込んであることを確認した上で既存のパイプの差し込んであった場所に(図②)自動水栓の接続部(図③)を差し込んでモンキーなどでナットを締めこみます。
2.電池ボックス蓋の開閉用ねじをドライバーなどでまわしてふたをはずします。電池の端子を奥側にして(図④)電池を差し込み蓋を閉めます。
※決して濡れた手で上記作業を行わないでください。
3.電池を投入すると手動スイッチ部のパイロットランプが赤く点滅いたします。点滅を確認したら、各設定を行います。

図④

図②/図③

図④

〔蓋の取り付け上の注意〕
①の角をケースにしっかりはめ込んでください。
②蓋の矢印部を指で本体側に強く押し付けながらドライバーでネジを締めてください。
③ネジはゆるくなくなるまで締めていただければ結構です。

① ② ①

図④

設定および電池交換

●センサー感度学習機能の設定
1.パイロットランプが点滅状態でセンサー部蛇口をシンクの一番浅い位置にあわせます。手動スイッチを3秒以上指で押し続けて離すと学習機能が働き、センサーを適正位置に自動的に設定します。(その間およそ1秒)
※センサー感度学習機能について
センサー感度学習はまず対象物(シンクなど)に光を発射して戻ってくる光で距離を測定します。その動作を2度繰り返し位置を確定します。その後、適正エリアにセンサー感度を固定します。
2.その後10秒間何も操作しなければオートストップタイマーをモード1(表1参照)に自動的に設定します。
3.感度設定完了後、10秒以内に手動スイッチを3秒以上押して離すと、タイマー設定モードになります。モード1は1秒間に1回パイロットランプが点滅します。
さらにマニュアルスイッチを1回押すとモード2(パイロットランプが1秒間に2回点滅)さらに押すとモード3、モード4と切り替わります。詳しくは下記設定表をご覧ください。
●電池交換について
電池が消耗してくるとパイロットランプが点滅をはじめます。パイロットランプの点滅を確認したらに電池を交換してください。ランプ点滅時は、動作は停止しますので早めに電池を交換してください。
電池交換方法および再設定については取付け方法および電池のセットの項目をご参照ください。

マイコンモード表	モード1	モード2	モード3	モード4
センサー自動停止時間	30秒	60秒	30秒	60秒
手動停止時間	3分	3分	10分	10分
LED点灯表示	点滅1回	点滅2回	点滅3回	点滅4回

取り付け後の確認

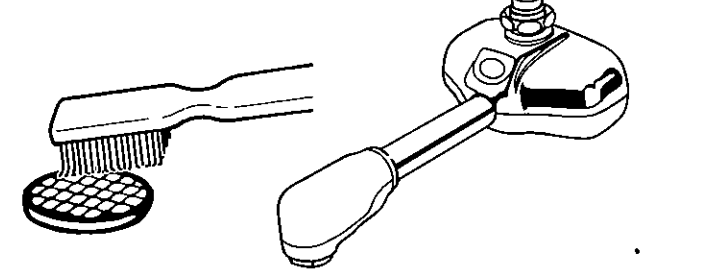
取付け後、蛇口のコックを開けて手動スイッチを押します。水が出続けますのでご使用状態に合わせてコックを回して水の量を調整します。手動スイッチを押して水が止まることを確認してください。センサーに手を近付けて水が出ることを確認してください。
誤動作の場合の感度の再設定
※蛇口を左右に動かし、水が出たり止まったりを繰り返すまたは、水が出続ける場所がある場合は、その位置で再度、設定をし直す必要がありますので電池を1度抜いてリセットモード(パイロットランプの点滅)にして、感度調整から行ってください。

手入れのしかた

●スパウトの手入れ
メッキされた部分が光沢を保つように、ふだんは柔らかい布などでみがいて下さい。
(時々ワックス等でみがくと輝きが持続します。)
注)クロームメッキは塩素系洗剤を使用しますと変色致しますので絶対に使用しないで下さい。

●近赤外線センサーの手入れ
週に1~2回程度、近赤外線センサーの表面を柔らかい布でふいて下さい。
汚れがひどい時は、中性洗剤を適当に薄め、布などに含ませて、ふきとって下さい。
次に水を含ませた布をよく絞って洗剤をふきとり、最後にからふきして下さい。

●吐水口(整流器)の手入れ
吐水口の整流器部分が詰まると水の出が悪く、充分な機能が発揮されません。
整流器をモンキー等で取り外し、ブラシ等で時々清掃をしてください。

●ストレーナーの手入れ
ストレーナーか詰まると吐水量が少なくなり、充分な機能が発揮されませんのでブラシ等で清掃をしてください。

ストレーナー

メンテナンス(故障診断)

故障?!
(ちょっと調べてみましょう)

症状	確認項目	処置方法
水が出ない。	1.止水栓は閉まってないか。	閉まっていたら開く。
	2.断水中ではないか。	回復を待つ。
	3.近赤外線センサーの前に障害物はないか。	あれば取り除く。
	4.近赤外線センサーの表面が汚れていないか。	センサー表面の清掃。
	5.ストレーナーにゴミが詰まっていないか。	ストレーナーの交換。
	6.乾電池が切れていないか。(表示ランプが点滅します)	乾電池の交換。
水が止まらない、または水の止まりが遅い。	1.近赤外線センサーの前に障害物はないか。	あれば取り除く。
	2.近赤外線センサーの表面が汚れていないか。	汚れていれば、きれいにする。
	3.整流器にゴミが詰まり、水が揺らいで出ていないか。	整流器の清掃。

仕様HS-7

電源電圧	DC6V乾電池駆動<リチウム電池>
電池寿命	2~3年(使用頻度により変動)
接続ネジ寸法	W26 山20
最小吐水量	400リットル/時
耐圧	1.75Mpa
使用水温	1℃~60℃
室温範囲	0℃~50℃
室内湿度範囲	90%RH以内

●電池はカメラ用リチウム電池CR・P2を使用します。
●電池については、最寄りのカメラ店・ホームセンターなどでお求め下さい。

保証規定

1.自然故障、あるいは本取扱説明書に記載された使用方法において故障が生じた場合はお買い上げの日より1年間無償修理致します。但し、付属品、梱包類、外観上の傷、汚れ、サビ等は含みません。

2.ご贈答品や転居の場合のアフターサービスについては、事前にお買い上げ店にご相談ください。

3.無償修理期間中であっても、次の場合は有償修理になります。
(イ) 誤った使用法あるいは不注意によって生じた故障や損傷。
(ロ) 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
(ハ) 火災、風水害、地震、雷、その他天災地変、ならびに公害、塩害、異常電圧、など外部要因によって生じた故障や損傷。
(ニ) 開閉弁に水アカや化学物質、その他が付着したことに起因する水もれ。
(ホ) 保証書の紛失あるいは※印の事項の未記入、または字句を勝手に訂正された場合。

4.本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

5.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in japan)

6.輸送費等1年未満の無償修理の場合は、メーカー負担とし、それ以外は所有者(利用者)の負担とします。
7.本製品はすべて持ち込み修理となります。